



2023-24 年度
国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー

Weekly Report Niigata



2023~24 年度
新潟ロータリークラブ会長

内山 博之

新潟 RC 1 月第 2 例会 (2024.1.16) (Zoom 例会併催) No.3490

(1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2) 内山 博之会長挨拶

皆さん、こんばんは。本日は、新年家族会ということで、毎週の例会にもまして緊張しておりますがよろしくお願いたします。さて、今月は職業奉仕月間ということで、新年にあたりまして改めて職業奉仕の意味と実践についてお話させていただければと思います。ロータリークラブが職業人である我々ロータリアンによって構成されている以上、会員同士の事業の発展や利益の向上を図ることが、ロータリー運動を持続し発展するための大前提であるのは言うまでもありません。シェルドンの唱える「He profits most who serves best his fellows = 最もよく奉仕する者は最も多く報いられる」ここで言う service は有料であり、奉仕は無料か採算度外視という意味であり、職業人から service を受けるにはその service に対して適正な対価を支払い、それに対して職業人は良質な service 「責務・役務」を提供しなければならない、そして profit とは、金銭的利益であり精神的なものではないことを意味しています。シェルドンは、不正や不道德な方法で一攫千金の利益を夢見たりするのではなく、自分の幸せは、自分の周りにいる人々の幸せと決して無関係ではない。良質の職業人とは、自己改善を重ねて、自分の職場を健全に守ると共に、取引先・下請け業者・従業員・顧客など、自分の事業と関係を持つすべての人に幸せをもたらすことです。そして、その心を持って事業を営めば、必ず最高の利益が得られることを自分の職場で実践することによって、奉仕の精神の必要性を地域全体の職業人に伝えていかなければならない。このような考え方で事業活動を営むことが、職業奉仕であると説いたのであります。もう一つ付け加えるのであれば、この職業奉仕を実践できるのは、やはり家庭が安定でなければなりません。つまり家族奉仕もつと言えば奥様奉仕があつてこそ家庭が安定するわけでありまして、本日より心を入れ替えて、奥様奉仕の実践をしていきたいと思っております。いつも有難うございます。以上、本日の会長挨拶とさせていただきます。

(3) ゲストの紹介

長谷川 欣也さん、

石本 陽子さん、内山 里美さん

小木 知未さん、坂井 文子さん

坂本 典子さん、高橋 歩さん、

徳永 成子さん

(4) 1月16日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
85	83	53	63.86

Zoom 参加 0名

次回 1月23日の例会プログラムは

会員スピーチ「職業奉仕こそ究極の幸せ！」

(株)総合教育研究所取締役会長 石橋正利君

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

新年家族会

会場:鍋茶屋

- 16:30 親睦委員会担当者集合
17:00 受付開始
17:30 例会 点鐘
 例会終了 点鐘

18:00 懇親会開会
 司会 高杉親睦委員長
 新年家族会開宴挨拶 高杉親睦委員長
 乾杯 石本隆太郎 PG

18:05 古町芸妓の手踊り
18:40 歓談
19:10 歓談、会食
19:20 各種お祝い品贈呈
 歓談、会食

19:50 中々挨拶 高橋 秀樹 PG
20:00 お開き

